創立 1951.1.1　承認 1951.3.23　登録番号 7734

RI 2016-17 のテーマ
人類に奉仕するロータリー
2016-17 RI 会長
ジョン F. ジャーム

国際ロータリー第 2530 地区 2016-17 年度

福島ロータリークラブ会報

vol. 6
WEEKLY REPORT
2016.8.25
thu

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F　【例会日】木曜日 12：30
【TEL】024-524-1010【FAX】024-524-1011
【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp　info@f-rotary.com

Rotary

http://www.f-rotary.com/

本日のプログラム　会員スピーチ

東北電力㈱　執行役員　福島支店長　**林　隆壽** 会員

会長あいさつ

第６回会長挨拶

古俣　猛 会長



大変盛大に行われたオリンピックも、日本選手団の大活躍のもと、無事終了しました。日本の獲得メダル総数は41個（金12、銀8、銅21）となり、過去最多だそうです。体格や骨格があきらかに劣る日本人が、世界でトップクラスに入るには、我々には想像できない程の辛い過酷な練習の成果だと思います。レスリング女子の吉田選手が日本選手団の主将として金メダルを取れなかったことに対して、「ごめんなさい」と涙を流しながら謝罪したシーンは、さすがに鬼の私も涙が止まりませんでした。改めて日本選手団に対して、心から敬意を表したいと思います。

日本選手団の活躍の理由のひとつとして「団結力」というものがあったそうであります。我々福島ロータリークラブも100名に限りなくせまっておりますが、当クラブが一番憂慮すべきとことは、「団結力と連帯意識」の希薄化だと思います。大人数であるがゆえに、誰かがやってくれるだろう、誰かが行くだろう、というある意味、無関心という状態に陥るケースが多いような気がします。先日の会長幹事会において、地区大会の登録状況が発表されましたが、当福島クラブは28.6%、福島中央クラブが57.1%、二本松あだたらクラブは46.7%、福島西クラブが45.2%、そして本日おいでいただいている福島南クラブが43.7%ということで、他クラブと比較して当クラブは大変残念な登録状況になっております。どうか今後も様々な会合や事業がございますので、皆様大変お忙しい立場かとは存じますが、積極的な参加と、ご理解をいただけますようにお願いをいたします。

また、その場におきまして、阿久津ＰＧより、各クラブ会長に対しまして、2019-20年度のガバナー候補者を推薦するよう、要請がありました事も皆様に報告を致します。また、当クラブは2018-19年度のガバナー補佐も輩出することとなっておりますので、今後理事会において、議論をして参りたいと思います。本日もどうぞ宜しくお願いします。

例会次第

開会点鐘　古俣　猛 会長



ロータリーソング
「福島ロータリークラブの歌」
ソングリーダー　渡邊又夫 会員



「四つのテスト」唱和
鈴木勇人 会員

お客様並びに来訪ロータリアン紹介
福島南RC　佐久間功 会長
福島南RC　職業奉仕委員会
三浦善治 委員長



８月誕生祝い
米山功労者第38回メジャードナー伝達
新会員メンター委嘱状の交付
会長あいさつ　古俣　猛 会長
ラウンド サーティについて
佐藤英典 SAA

食事
幹事報告　管野裕一 幹事



各委員会報告
●広報マルチメディア雑誌小委員会
「友８月号」紹介　今井理基夫 小委員長
※次号以降にて紹介記事を掲載致します。



●プログラム・ニコニコBOX小委員会
９月プログラムご案内
氏川守義 小委員長
ニコニコBOX　勝見浩二 委員



◎本日のプログラム
閉会点鐘　古俣　猛 会長

例会プログラムのご案内

９月８日（木）　12：30～　辰巳屋
○新会員スピーチ
JTB 東北法人営業　福島支店長　辺見 哲郎 会員

９月15日（木）　12：30～　辰巳屋
ガバナー公式訪問前クラブ協議会

９月22日（木）　祝日の週のため休会

９月29日（木）　辰巳屋
佐久間英一ガバナー公式訪問例会
◎会長・幹事会／９：30　◎クラブ協議会／10：30　◎例会／12：30

会員スピーチ

東北電力㈱　執行役員　福島支店長　**林　隆壽** 会員



東北電力の林でございます。本日は、貴重なお時間を頂戴し、誠にありがとうございます。福島ロータリークラブに入会させていただき、1年が経過いたしましたが、初めてのスピーチでもありますので、本日は、改めまして、簡単な自己紹介と、それから、この4月から電力小売の全面自由化にもなりましたので、弊社の歴史などについて、お話させていただきたいと思います。

私は、昭和30年に、南相馬市原町区、つまり旧原町市に生まれ、18歳まで原町で過ごしました。なお、高校は原町高校卒業であります。大学卒業後、第2次オイルショックの起こった昭和54年に東北電力に入社し、初任地は盛岡営業所でありました。その後、主に本店や東京での広報業務、そして原子力発電所や火力発電所の立地業務に携わりました。入社して38年目になりますが、そのうち、広報関係が19年、立地関係が13年ということで、この間、残念ながら、支店勤務はなく、昨年6月に福島支店に着任したのが初めての支店勤務となります。また、福島県内での勤務ということでは、原子力発電所の立地関係の業務を所掌し、事務所が浪江町にありました浪江・小高原子力準備本部での2回の勤務経験があります。1回目は、平成10年～13年までの3年間、広報課長として、そして2回目は、平成22年6月～平成24年6月までの2年間で、ちょうど3.11の東日本大震災と福島第一の原子力事故が起こった時は、現地の本部長でありました。この時、東京電力福島第一原子力発電所の吉田所長とは、浪江ロータリークラブで、8ヶ月間、ご一緒させていただきましたが、吉田所長は報道等でご紹介されておりますとおり、親分肌の方という印象が、今でも強く残っております。その後、本店の電源立地部長となり、平成25年3月の浪江・小高地点の原子力計画を取りやめる仕事に携わりました。

家族は仙台におりまして、私は今回で、4回目の単身赴任生活となりますが、仙台では、長男家族と同居しているため、小学2年と年長組の内孫が2人おります。

趣味は、昔は、卓球と言えるほど上手ではないものの、いわば下手なピンポンなどをやっておりましたが、3年ほど仙台を離れていた時期に、ピンポンをなめてかかり、ろくな練習もせずに、久しぶりに試合に出ましたら、初っ端の1試合目に、治るまで3ヶ月もかかる肉離れを起こしてしまいました。それから、すっかり体力の自信を失い、10年前に止めてしまいました。それ以降は、もっぱら、ゴルフに打ち込んでおりますが、ゴルフの経験は30年以上になるものの、残念ながら、我流のため、いくら練習しても、なかなか上手くならず、しかも、ほにぁほにぁ～とした、決して他の人が真似のできない独特のフォームであったため、昔、先輩達からは、「たこ打法」と言われ、かなりからかわれておりました。そういった汚名を返上し、品格のあるフォームを目指すべく、今も、結構熱くなって練習しておりますが、残念ながら、ほとんど成果が出ず、あまり改善はされておりません。昔は、時々80台も出たのですが、最近は100を切るのがやっといった状態です。しかし、ここでフォーム改造を断念してしまうと失敗だったということになってしまいますので、福島にきてからも、休みの日には、時々、早朝練習にも行き、とにかく、しつこく、諦めずに練習しているところであります。

以上が、自己紹介でありますが、次に、弊社の歴史などについて、お話させていただきたいと思います。

弊社は、今から65年前の昭和26年5月に創立されました。まず、弊社が創立されるまでの歴史を辿ってみますと、わが国最初の電気事業者である東京電燈は、明治19年7月に営業を開始いたしましたが、東北においては、それに遅れること8年後の、明治27年7月に仙台電灯が開業し、翌28年の11月に、福島電灯が開業いたしました。その後、弊社の供給エリアである東北6県と新潟県において、多くの電灯・電気会社が開業いたしました。そして、昭和14年4月に、国家統制のため、国策会社である日本発送電株式会社が設立され、日本の大半の発電と送電事業を担うことになります。また、昭和16年施行の配電統制令により、配電事業については全国を9地区に分け、各地区に1配電会社が設立されることになり、これにより昭和17年4月に、弊社の前身でもあります東北配電株式会社が設立されました。

その後、終戦を経て、日本の電気事業をどういった体制にするか、国と民間の激しい綱引きもなされる中で、電力の鬼として知られております「松永安左エ門翁」の大きな働きもあり、昭和26年5月に、日本発送電株式会社を9地域に分割し、地域の配電会社との合併により、各地域に現在の9つの電力会社が設立されました。

なお、弊社の初代の会長は、白洲次郎会長であります。皆さん、ご案内のとおり、白洲次郎会長は、吉田茂首相の懐刀でありますが、特に、会津の水力電源開発には力を尽くされ、何度も、作業員の激励のため、工事現場に足を運んでいたとのことであります。白洲次郎会長は、イギリスのケンブリッジ大学で学んでおりましたが、その関係もあってか、現場には、自らイギリスのランドローバーを運転し、来ていたとのことであります。また、白洲会長は、進取の気性にも長けており、昭和28年には、電力業界で初めて、弊社におい

て送電線の巡視などにヘリコプターを導入したり、さらには、マイクロ波無線を電力業界で初めて導入したのも、白洲会長の力によるところが大きかったようであります。なお、白洲会長は、昭和34年までの約8年間、弊社の会長として在籍し、ご尽力いただきました。

さて、こうした歴史的背景がある中で、本年4月から、ご案内のとおり、一般ご家庭も含めた電力小売の全面自由化がスタートいたしましたが、その自由化の動向について、少し、お話させていただきたいと思います。まず、自由化は、電気料金の内外価格、つまり日本と欧米との料金格差の解消等の観点から、平成7年頃から、発電事業からスタートし、自由化が進められました。その後、小売の自由化も進められ、今から17年前の平成11年には、大規模工場など、電気の使用規模が2,000kW以上のお客様が自由化の対象となり、その後、順次自由化が進められ、平成17年には、中小規模の工場やスーパーなど、使用規模50kW以上のお客様が自由化の対象となりました。そして、この4月から、一般のご家庭を含めた、使用規模50kW未満のお客様も自由化の対象となり、これにより、電力小売の全面自由化となったものであります。また、4年後の平成32年には、送電と配電部門の法的分離が行われることになっております。つまり、送配電事業を行う会社を、新たに別会社としてつくらなければなりません。これを踏まえ、弊社の場合、どういった企業体制にするか、現在、鋭意検討しているところであります。なお、先ほども申し上げましたとおり、昭和26年に、発電と送電、小売の一貫体制がとられ、一社が全責任をもって電気をお届けしてまいりましたが、送配電部門の法的分離により、例えば、自然災害などにより大規模な停電が発生した際などに、送配電部門が別会社になったが故に、意思疎通が不十分なことなどにより、早期復旧作業などに影響が出るのではないかといった、懸念される点もあります。いずれ、そういった課題については、今後、国においても、しっかりと検証されていくものと考えております。

次に、福島県の電力事情について、簡単にお話させていただきたいと思います。

福島県内には、弊社の他に、ご案内のとおり、東京電力さん、電源開発さん、そして共同火力など、電気事業者が複数あり、それぞれが水力、火力、原子力の発電設備を所有し、発電を行っております。まず、水力発電は、弊社が61ヶ所で、出力約125万kW、電源開発さんが9ヶ所、出力約235万kW、東京電力さんが15ヶ所、出力約35万kW、合計で85ヶ所、出力では約395万kWの水力電源があります。因みに、福島県内でお使いいただいている電力需要は、近年では、約300万kWでありますので（実際には、水の出などにより、そうはいかないものの）、数値だけで見ますと、県内に設置されている水力発電のみで賄える勘定になります。火力発電所は、弊社が、原町火力1ヶ所で出力200万kW、東京電力さんが広野火力1ヶ所で、出力440万kW、それに東京電力さんと弊社の共同出資による相馬共同火力が出力200万kW、そして常磐共同火力が出力170万kWで、火力合計では、4ヶ所で、出力1,010万kWであります。なお、原子力については、東京電力さんが福島第一を廃止しましたので、福島第二で、4基、出力440万kWがあります。この他、弊社の柳津西山地熱発電所が、これまでは単機出力では日本一の6万5,000kWでありましたが、建設から20年以上たって思うように蒸気が出ないため、今後、出力を3万kWに下げて、引き続き発電していく計画であります。こうしたことから、福島県内には、水力、火力、原子力、地熱など合わせて、発電設備が出力で、1,800万kW以上あります。因みに、弊社のフランチャイズである東北6県と新潟県の現在の電力需要規模は最大で、1,300万kW程度であります。福島県内には、また、震災後、特に、多くの太陽光発電の開発・導入が進められ、さらには風力発電も開発されている状況にあることは、皆さん、ご承知のとおりであります。なお、先ほども触れさせていただきましたとおり、福島県内の需要規模は、震災前は、夏場の一番暑い日に、約300万kWでありましたが、震災後は、工場の移転や節電の定着などにより、震災前より、1割近く少なくなっております。いずれにいたしましても、これにより、福島県がいかに、電源県であるかが窺いしれるところであります。

最後に、先ほども申し上げましたとおり、この4月から、電力小売が全面自由化になりましたが、これまで、全国で320社以上の新規小売電気事業者が営業を開始し、このうち、60社弱が、弊社のフランチャイズであります東北6県と新潟県で営業を開始、もしくは予定しております。また、今年の7月末現在で、全国では関東と関西圏を中心に147万件以上のお客様が（これは、全国の一般家庭などのお客様の2．5％弱にあたりますが）、そして東北においては、4万件以上のお客様が既存の電力会社から、新電力や他の電力会社などに契約を切り替えております。こうした状況を踏まえ、弊社といたしましては、これまで以上に、お客様のニーズにお応え出来るよう、新しい料金プランやサービスの開発に努め、弊社を引き続き、選択していただけるよう取り組んでまいりたいと考えております。また合わせまして、弊社は、これまでも、「東北の繁栄なくして、当社の発展はなし」という経営理念のもと、地域とともに、歩ませていただいてきておりますが、今後さらに、少しでも、福島の復興・創生はもとより、地域の発展にお役に立てるよう、全力で取り組んでまいりたいと存じますので、引き続き、ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げまして、私のスピーチとさせていただきます。ご清聴、ありがとうございました。

表彰・伝達

●米山功労者第38回メジャードナー伝達

加藤義朋 会員へ

第30回米山功労クラブとして
表彰されました。









●新会員メンター委嘱状の交付

靏丸　直久 会員へ
＊船本 勝 新会員のメンターとして

森岡　幸江 会員へ
＊佐藤美奈子 新会員のメンターとして



8月誕生祝い ～おめでとうございます～



森川　英治 会員
昭和30年8月 6日
菅野　晴隆 会員
昭和41年8月 7日
今井理基夫 会員
昭和22年8月12日
八巻　恵一 会員
昭和34年8月14日
勝見　浩二 会員
昭和35年8月17日
三木エリカ 会員
昭和46年8月20日
反後　太郎 会員
昭和39年8月21日
右近　八郎 会員
昭和28年8月23日

佐藤英典　SAAより提言



皆さんご存知のように、福島RCは会員100名に迫る勢いです。会員が多くなると、ロータリー活動資金が豊富になること、多岐にわたる職種より優秀な人材が集まること等のメリットがありますが、その反面、個々のコミュニケーションが希薄になる等の欠点が出てきます。その上、当クラブに於いては例会時に着席するテーブルが固定化している傾向があります。また、新入会員や転勤して間もない会員が他の会員と話しをするきっかけがないのも事実です。そこで、会員相互の親睦を図るため、SAAより今年度の新しい試みとして、**Short Round Table Speech Thirty**（ラウンド　サァーティ）を行いたいと思います。

その方法は、**例会に於いて2ヶ月に一度抽選で席替えを行う。食事前に各自30秒以内のスピーチを行う。**スピーチの内容は氏名、職場・事業所名、ロータリー歴を基本とし、仕事内容や家族のこと、趣味、地元の食べ物や行事・観光地、印象に残った言葉や出来事など何でも結構ですので30秒以内にまとめて下さい。進行はそのテーブルの年長者にお願いします。

私のひとこと　右近八郎 会員



先日、再生可能エネルギー推進の取組に関する、県担当者の講演会に参加しました。東日本大震災以来脚光を浴びているエネルギーですが、エネルギーとしての工学的評価では最低ランクであると認識しています。しかし震災以来、環境放射線の除染作業に多大なコストを費やすのと同じように、再生可能エネルギー推進への投資が進められています。

優れて技術的・経済的な問題への対応が、その科学的・客観的な評価に関係なく、政治主導による政治的行為として行われ、莫大な浪費となっています。安全は技術的な課題であり、安心は政治的な課題です。安全の議論なくして安心はありません。脅しのような情報の氾濫により政治問題化した日本のリスク管理の問題を、技術的・経済的な問題として冷静に見直す必要があります。

ニコニコBOX報告　〈報告〉勝見　浩二 委員

本日のニコニコBOX投入額　37件　¥73,000　累計 ¥534,000

古俣　猛 会長
林支店長のスピーチ楽しみにしております。蒸し暑い残暑が続いておりますが皆様体調はいかがでしょうか？わたくしは、少々バテ気味です。本日も宜しくお願いします。

五阿弥宏安 会員
林支店長のスピーチを楽しみにしています。

加藤義朋 会員
8月18日第12回米山理事会に出席して参りました。我が家の物干し場に「スズメ蜂の巣」を発見しました。今夜駆除する予定です。

鈴木勇人 会員
はじめて四つのテストを唱和致します。日常でも大切な事項です。宜しくお願いします。

丹治正博 会員
詩人の和合亮一さんが主宰する「未来の祀りふくしま」が28日(日)の夕方に稲荷神社の境内で開催されます。2年目の今年は、島根県から石見神楽の一行が「オロチ」を上映します。16時からは神楽のシンポジウムが行われ私も参加します。

茂田士郎 会員
何気なくパソコンをいじっていたらYou-Tubeで「昭和枯れすすき」というのが出てきたのでクリックしてみると「貧しさに負けた、いえ、世間に負けた」という懐かしい「さくらと一郎」のデュエットが聞こえてきました。40年前の演歌としては珍しいハモリの入った歌声で、高度経済成長の陰で辛い生活をする庶民の心を切々と歌う声に聞き入りました。

森川英治 会員、勝見浩二会員、三木エリカ会員、八巻恵一会員
誕生祝いを頂きました。ありがとうございます。

林　隆壽 会員
本日会員スピーチをさせて頂きます。宜しくお願い致します。

他クラブ会員より／安藤健次郎／安藤錬雄／加納武志／白岩康夫／佐藤康太郎／小林仁一／児玉健夫／八子英器／小原 敏／森 洋一／靏丸直久／内池 浩／井上賢司／黒崎浩一／森岡幸江／熊坂仁美／氏川守義／長谷部一雄／佐藤美奈子／後藤洋伸／田沼紀美子／管野裕一／増子 勉／佐藤英典／岡田新也／野原邦亮